NRW-80

NRW-110

■標準仕様

形名		NRW-80H, NRW-80HL	NRW-110H, NRW-110HL
外形寸法		80×80mm	110×110mm
質量（DC1mA 製品）		550g	1400g
指示計部	動作原理	直流:可動コイル形　交流:整流形　実効値応答形(1A 以上の電流計)	
	目盛の長さ	124mm	170mm
	精度階級	2.5 級	1.5 級
	標準目盛区分数	30～50	
	測定指標	黒色広角	
	目盛板	白色	
	カバー色	黒色又は 7.5BG4/1.5	
	最大使用回路電圧	300V	
継電器部	動作方式	電子式	光電式(保持回路付)
	出力信号	持続出力(接点出力)	
	設定指標	剣形　H(上限):赤色　L(下限):緑色	
	設定範囲	H、L共目盛りの0～100%	
	設定機構	HL(上下限)又は H(上限)	
	最小設定幅 ※1	3%以下	
	ピックアップ値の許容差※1	1.5%以下	1.0%以下
	デットバンド ※1	0.5%以下(オプションで 2%まで可能)	0.5%以下
	応答速度	0.5s 以下(交流入力は除く)	—
	温度の影響 ※1 (23℃±10℃でのピックアップ値の変化)	0.3%以下	
	電源電圧の影響※1 (定格電圧 ±10%でのピックアップ値の変化)	0.3%以下	
	出力接点構成	H、L各1トランスファ	H、L各1トランスファ（ラッチングリレー採用）
	接点容量(抵抗負荷)	AC 250V 3A, DC 30V 3A	
	パワーオンディレイ(オプション)	-T2:2s, -T5:5s, -T10:10s(内部固定、要指定) 例:NRW-80HL-T5 接点は指定時間内出力されません。	—
	タイマー回路(オプション)	—	-T:0.3s～10s(トリマ可変、専用電源端子付) 例:NRW-110H-T 接点は設定時間内出力されません。(測定入力をカットします。11ページ参照)
	動作ディレイ(オプション)	-D:1s～5s(要指定) 例:NRW-80H-T5-D　3 秒 接点出力が指定時間遅延します。	—
	供給電源	AC100/110V, 200/220V (50/60Hz)+10%, −15%　DC24V ±10%(要指定)	
	消費電力	2VA 以下	
試験電圧（電気回路ー外箱間）		AC2210V 5 秒間	
測定カテゴリ		CAT III	
汚染度		汚染度 2	
高度		2000m 以下	
使用場所		屋内	
動作周囲温度		0～50℃	
動作周囲湿度		30～90%RH(結露しないこと)	

※1 目盛長さに対する値です。

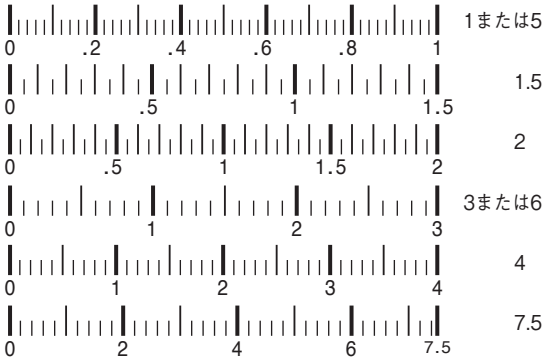
標準定格			
直流電流計（可動コイル形）		10μA～5A	1mA, 10mA～5A
直流電圧計（可動コイル形）		10mV～300V	3V～300V
受信計（可動コイル形）		4～20mA, 1～5V(500kΩ)	4～20mA, 1～5V(4kΩ), 1～5V(1MΩ、7331 外付)
交流電流計	(整流形)	1mA～300mA(7331 外付)	1mA～300mA
	(実効値応答形)	1A～5A(CT 内蔵), 10A～30A(7311 外付)	
交流電圧計(整流形)		10V～300V	

実効値応答形交流電流計は、2倍または3倍延長目盛製作可能です。　直流電流計で上記定格を越える場合は、100mV（NRW-80は60mV）計器に分流器を外付してご使用ください。
直流電圧計で上記定格を越える場合は、1mA計器に倍率器を外付してご使用ください。　交流電流計で上記定格を越える場合は、5A計器に変流器を外付してご使用ください。（整流形を除く）
交流電圧計で上記定格を越える場合は、100V計器に変圧器を外付してご使用ください。

■標準目盛区分(普通目盛)

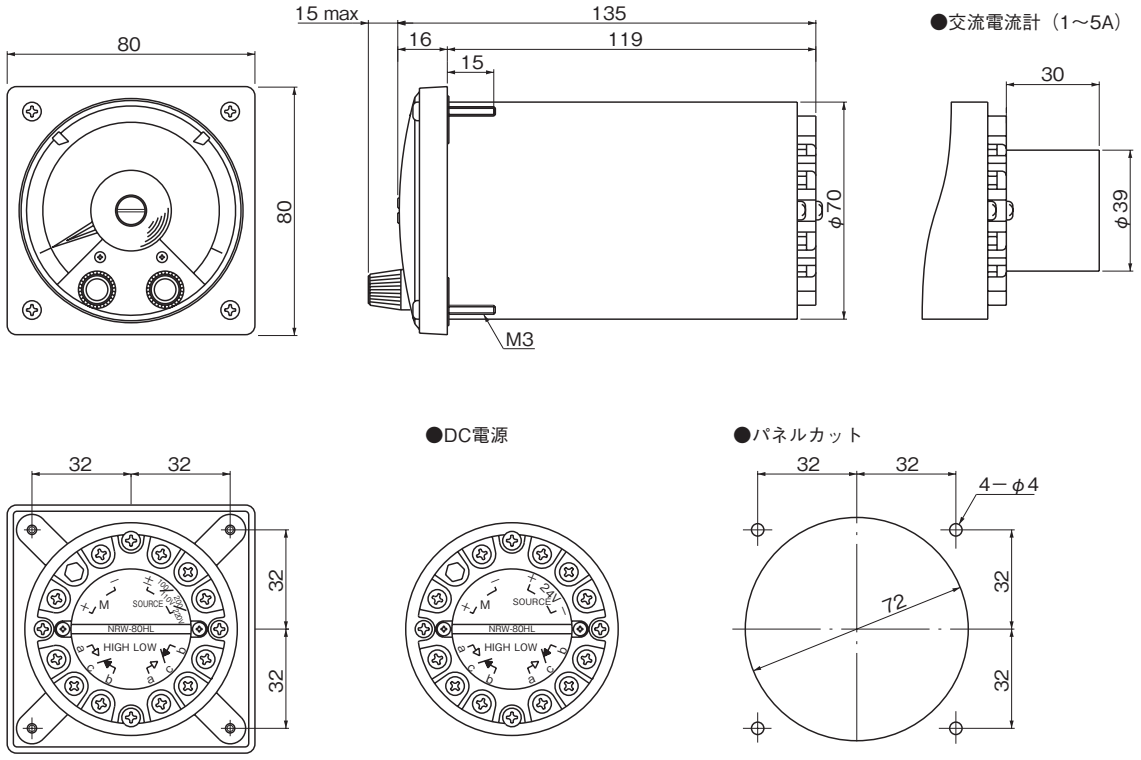
NRW-80、NRW-110

最大目盛値 (10の整数べき倍)	目 盛 区 分
1	50
1.5	30
2	40
3	30
4	40
5	50
6	30
7.5	37.5



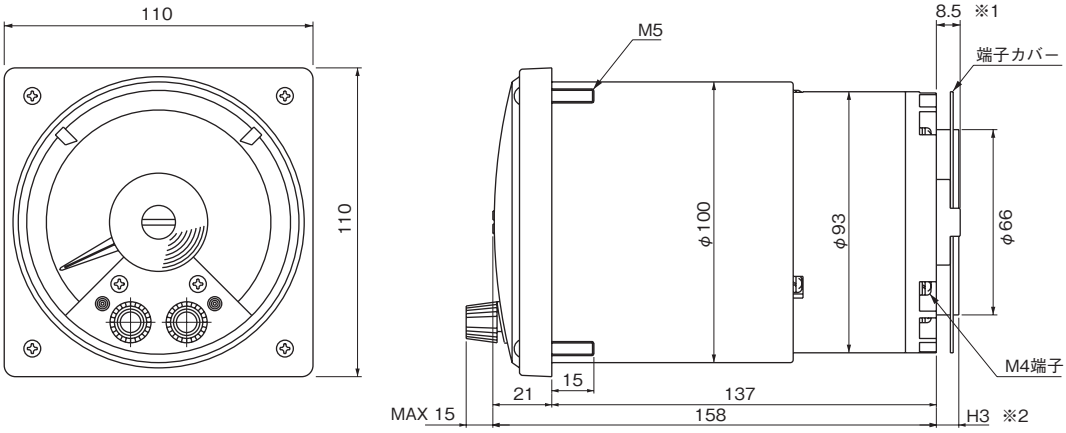
■外形図

NRW-80

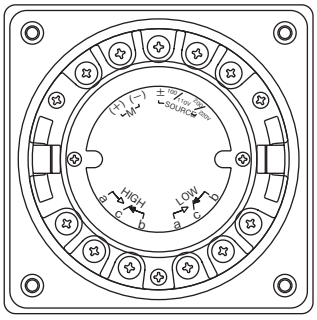


単位：mm

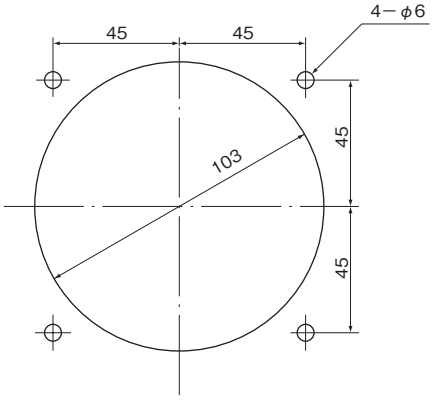
NRW-110



※1 端子カバー止め高さ寸法
※2 定格により異なります。
（H3寸法表参照）



●パネルカット



H3寸法

直流電圧計・電流計、交流電圧計・電流計	8
交流電流計（1～5A）	31
タイマー回路内蔵	53

単位：mm

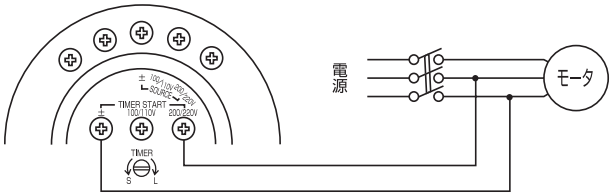
■使用時のご注意

NRW-110 は、ラッチングリレーを使用しています。
下記にご注意下さい。

①ラッチングリレーは、制御電源を切った時の出力状態を保持しますので、制御電源再投入時、測定指標の位置に関わらず保持していた出力状態で復帰します。
例：NRW-110Hで上限警報出力中に一旦制御電源を切り、測定指標が上限設定値より下回る位置に移動した後、再度制御電源を投入すると上限警報が出力します。
上限警報出力の解除は、設定指標を移動させて測定指標を下回る位置まで下げ、ピックアップ値を一度通過させてください。

②停電等で一時的に制御電源が ON ／ OFF した場合も①と同じです。

③誤動作を防ぐため、制御電源は測定入力と同時または測定入力を投入する前に ON してください。

■タイマー回路（オプション）

タイマー回路は、モータ起動時に発生する過電流により測定指標が振り切れたり、不要な出力が出ないように一定時間、測定入力をカットする回路です。
メータリレーの補助電源を投入すると測定入力はカットされた状態になります。裏面中央部のタイマー用電源端子に電源を投入してから、設定時間後に測定状態となります。
タイマー用電源をモータ等の電源と同時に投入できるような回路構成で接続してください。
タイマー回路内蔵計器は出荷時３秒（可変時間は0.3秒～10秒）に設定しています。
設定時間は裏面の可変抵抗で変更できます。